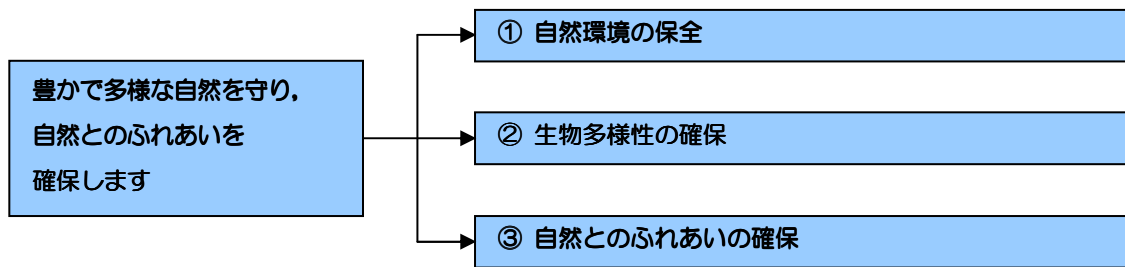


第3章

多様で豊かな自然の恵みを感じ、水と緑と人が共生する魅力あるまち

1 自然環境

(1) 環境目標と施策の方向



(2) 概況

本市は、全国と同規模の都市と比較して豊かな自然環境が残されており、近年個体数が減少している動植物が確認されるなど、多様な生物の生息環境を有しています。

しかし、近年の都市化の進展に伴い、市街地から周辺地域にかけての自然の緑が減少してきており、市街化調整区域内に分布する 1,000 m²以上の樹林地は、2,011 箇所、6,452.12ha となっています。(平成 16 年度樹林地現況調査)

このような中、「戸祭山緑地」や「鶴田沼緑地」の保全など（財）グリーントラストうつのみや等の市民団体による樹林地管理や森づくりなどの緑地保全活動を支援し、市民主体の緑地保全活動を推進しました。

本市の動植物の確認状況

種 類	平成 2～3年	平成 11～12年	主な希少種(平成11～12年度)
植 物	139科 905種	130科 815種	ミズニラ、タニヘゴ、カザグルマ、ジュンサイ、モウセンゴケ、ヒナノカンザシ、サワゼリ、ヒメナエ、タカクマヒキオコシ、ゴマクサ、ヒメトラノオ、カワヂシャ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、サワギキョウ、カワラニガナ、オオニガナ、ミヤコアザミ、サワオグルマ、タムラソウ、オオチゴユリ、アギナシ、カキツバタ、ヒメコヌカグサ、ザゼンソウ、ミクリ、ヤマトミクリ、ヤマクボスゲ、マメスゲ、カガシラ、マネキンシンジュガヤ、エビネ、キンラン、カキラン
哺乳類	11種	8種	—
鳥 類	106種	95種	チュウサギ、ハチクマ、ハイタカ、オオタカ、コアジサシ、サンショウクイ
両生類 爬虫類	16種	16種	トウキョウサンショウウオ、トウキョウダルマガエル
昆虫類	983種	1,243種	オゼイトンボ、グンバイトンボ、ホンサナエ、サラサヤンマ、クロスジギンヤンマ、ヨツボシトンボ、ハッチョウトンボ、キトンボ、ハルゼミ、ミズカマキリ、タガメ、アカスジキンカメムシ、ホソセスジゲンゴロウ、シマゲンゴロウ、ゲンジボタル、ジュウクホシテントウ、スゲハムシ、トゲアシクビホソハムシ、キイロヒメアリ、シワクシケアリ、トゲアリ、ギンイチモンジセセリ、ツマグロキチョウ、オオムラサキ
魚 類	13種	23種	スナヤツメ、ホトケドジョウ
底生動物	97種	132種	マルタニシ、ミズムシ

資料(宇都宮市自然環境基礎調査、調査地点は異なる)

(3) 数値目標の達成状況

環境指標		担当課
①環境学習センターで開催する自然環境に関する講座等の参加者数を増やします。		環境政策課
14年度(基準)	2講座(3回)延べ150名	
15年度	4講座(5回)延べ133名	
16年度	3講座(3回)延べ121名	
17年度	3講座(3回)延べ107名	
18年度	3講座(3回)延べ125名	
19年度	3講座(8回)延べ154名	
20年度	6講座(8回)延べ170名	
	評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
22年度(目標)	増加を目指します。	

(4) 環境施策の取組状況

① 自然環境の保全

取組名	概要	担当課
自然環境保全対策に関するアドバイザー会議	市が開発事業を実地するにあたり「宇都宮市環境基本計画」「宇都宮市環境配慮指針」に基づき、市域の良好な自然環境を守り、動植物等への影響や自然環境保全対策に関する総合的・統一的な検討及び事業の推進を図ることを目的として、自然環境専門家からアドバイスを受けるため会議を開催します。	環境保全課
取組状況		
平成15年度	新最終処分場建設事業、斎場整備事業、上窰谷ため池整備事業、鬼怒川緑地運動公園整備事業	
平成16年度	新最終処分場建設事業、斎場整備事業、市道5340号線(みずほの通り)道路整備事業等	
平成17年度	エコパーク板戸整備関連事業、市道5340号線(みずほの通り)道路整備事業、西川田川改修事業	
平成18年度	エコパーク板戸整備関連事業、市道5340号線(みずほの通り)道路整備事業、東大川・谷田川等整備事業	
平成19年度	エコパーク板戸整備関連事業、市道5340号線(みずほの通り)道路整備事業、唐沢・刈沼ため池整備事業	
平成20年度	エコパーク板戸整備関連事業、市道5340号線(みずほの通り)道路整備事業、刈沼ため池整備事業	

取組名	概要	担当課
自然環境基礎調査	本市の自然環境を構成する諸要素がどのように分布しているか調査し、開発や利用によって受ける影響を予測し、それらの保全のために必要な対策を講じるための基礎資料として活用するため調査を行います。	環境保全課
取組状況		
平成 2～ 3年度	第1回自然環境基礎調査の実施	
平成11～12年度	第2回自然環境基礎調査の実施	
平成13年度	調査結果を活用した「宇都宮の自然」の発行	

取組名	概要	担当課
開発許可制度の適正運用	開発事業の実施にあたり、緑化の推進や雨水の地下浸透など環境への配慮を行うよう、規制・誘導を行います。	都市計画課
取組状況		
「開発許可申請に関する指導要領等に基づく指導の徹底」		
【許可申請受付件数】		
平成15年度(241件) 平成16年度(355件) 平成17年度(431件) 平成18年度(502件) 平成19年度(499件)		
平成20年度(482件)		

② 生物多様性の確保

取組名	概要	担当課
外来種対策の推進	生物の多様性を確保するため、野生動植物の保全・保護や侵略的外来生物による被害予防に関する情報提供や啓発を行います。	環境保全課
取組状況		
H19年度 ポスターを掲示し啓発を図る		

取組名	概要	担当課
自然環境保全対策に関するアドバイザー会議	市が開発事業を実地するにあたり「宇都宮市環境基本計画」「宇都宮市環境配慮指針」に基づき、市域の良好な自然環境を守り、動植物等への影響や自然環境保全対策に関する総合的・統一的な検討及び事業の推進を図ることを目的として、自然環境専門家からアドバイスを受けるため会議を開催します。	環境保全課
取組状況		
平成15年度	新最終処分場建設事業、斎場整備事業、上窰谷ため池整備事業、鬼怒川緑地運動公園整備事業	
平成16年度	新最終処分場建設事業、斎場整備事業、市道5340号線(みずほの通り)道路整備事業等	
平成17年度	エコパーク板戸整備関連事業、市道5340号線(みずほの通り)道路整備事業、西川田川改修事業	
平成18年度	エコパーク板戸整備関連事業、市道5340号線(みずほの通り)道路整備事業、東大川・谷田川等整備事業	
平成19年度	エコパーク板戸整備関連事業、市道5340号線(みずほの通り)道路整備事業、唐沢・刈沼ため池整備事業	
平成20年度	エコパーク板戸整備関連事業、市道5340号線(みずほの通り)道路整備事業、刈沼ため池整備事業	

取組名	概要	担当課
うつのみや文化の森の保全	本市の中北部に位置するうつのみや文化の森について、北部丘陵地域の緑地保全を基本とした利活用方策を検討します。	地域政策室
取組状況		
平成15～16年度 「緑地保全を基本とした利活用方策の検討」	現地調査の実施(6月)	
平成17年度 「緑地保全を基本とした利活用方策の検討」		
平成18年度 「緑地保全を基本とした利活用方策の検討」		
平成19年度 「緑地保全を基本とした利活用方策の検討」		
平成20年度 「緑地保全を基本とした利活用方策の検討」		
(うつのみや文化の森の概要) 対象 宇都宮美術館とその周辺公園を含む北部丘陵の中核をなす田川沿いの丘陵地 現状 ・市街地近郊では、最大規模で唯一残されたまとまった良好な樹林地からなる里山 ・多様な動植物が生息 ・宇都宮美術館は、市民の憩いの場と芸術文化活動の拠点		

③自然とのふれあいの確保

取組名	概要	担当課
野外環境学習活動の推進	自然体験を通じた環境学習を推進するため、「野外環境学習活動実行計画」に基づき、野外環境学習に関する情報提供、人材の育成等を行います。	環境政策課
取組状況		
「環境リーダーステップアップ研修」の開催 対象 森林ボランティア、緑化ボランティア、文化財解説ボランティア、自然体験活動指導者のうち、継続的活動を実践している人 内容 環境教育プログラム(講義・実習) 場所 冒険活動センター 実績 平成15年度(30人) 平成16年度(30人) 平成17年度(26人) 平成18年度(26人) 平成19年度(30人) 平成20年度(33人)		

取組名	概要	担当課
市民団体等による緑地保全の促進	(財)グリーントラストうつのみや等の市民団体による樹林地管理や森づくりなどの緑地保全活動を支援し、市民主体の緑地保全活動を推進します。	公園緑地課
取組状況		
1. 緑地保全活動の支援 … 平成20年度 市保有の保全緑地 計 187,600㎡ 下記の緑地については、(財)グリーントラストうつのみやに管理業務を委託し、保全を図っている。 (1)鶴田沼緑地(81,000㎡) ・ハッチョウトンボの棲む鶴田沼及び近隣雑木林の保全 (2)戸祭山緑地(106,600㎡) ・トウキョウサンショウウオの生息地であり、昔ながらの里山や沼地の保全 2. 市民活動等の支援 市民主体の緑地保全活動のため、グリーントラストへの委託業務として、年10回の自然環境学習活動を実施した。 また、グリーントラストによる自然環境学習の自主活動及び市民参加事業等においても、適宜、必要な情報・ノウハウの提供を行った。		

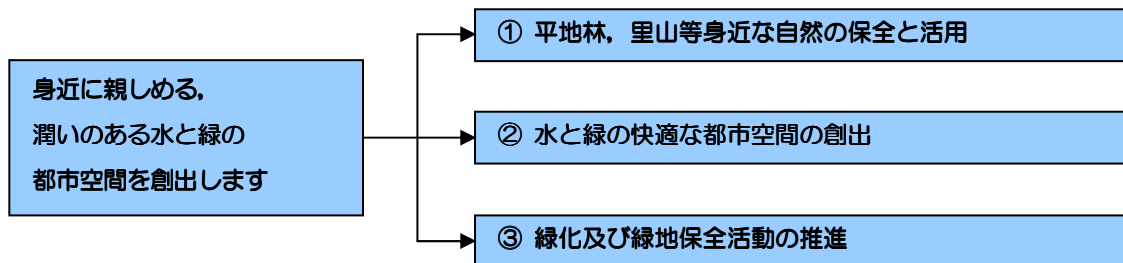
取組名	概要	担当課
環境学習センターにおける環境学習の推進	環境学習センターを本市の環境学習の拠点施設として位置付け、環境講座やセミナーなど環境学習事業を推進します。	環境政策課
取組状況		
「環境学習事業」の開催 廃油から石鹸作り、エコッキング、自然観察会など216回(延3,450人) 「再生品(家具、自転車等)提供事業」の実施 展示数(392点)、申込数(5,537件) 「館内案内事業」の実施 団体見学(406団体、8,903人)、一般来館(13,118人) ※詳細はリーディングプロジェクト「環境パートナーシップ推進プロジェクト」に記載		

(5) 今後の取組

市民主体の緑地保全活動を推進するため、引き続き「鶴田沼緑地」等の保全に向けた取組を進めるとともに、緑地保全等の活動にかかる情報・ノウハウの提供や必要な支援を行っていきます。

2 身近な自然

(1) 環境目標と施策の方向



(2) 概況

本市は、北西部の山地の裾野となる農地から市街地にかけて、谷戸、溜池、湧水地を含めた里山や平地林が点在しており、市街地に楔状に入り込んだ長岡周辺の丘陵地をはじめ、戸祭山や鶴田沼など自然の豊かな樹林地が残されています。

市街化区域内に分布する 1,000 m²以上の樹林地は 772 箇所 (384.96ha)、300 m²以上 1,000 m²未満の樹林地は 313 箇所、21.02ha となっています。(平成 16 年度樹林地現況調査)

良好な都市環境の形成や、市民生活に憩いや安らぎを与える身近な公園については、八幡山公園や県営中央公園など大規模な総合公園が配置されています。

このような中、「戸祭山緑地」や「鶴田沼緑地」の保全、街区公園等の計画的な整備を進めていますが、一人あたりの都市公園面積や市域の緑地協定面積の確保については、目標値との差が大きい状況にあります。



■鶴田沼緑地



■みずほの自然の森公園



■上河内緑水公園



■桜づつみ園

本市の都市公園の推移

各年4月1日現在（面積単位：ha）

種別	昭和55年(1980)		平成2年(1990)		平成12年(2000)		平成15年(2003)		平成16年(2004)	
	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積
街区公園	157	23.36	342	37.48	515	51.74	616	55.90	630	56.38
近隣公園	8	7.46	11	19.30	15	24.71	15	25.31	15	25.31
地区公園	3	8.86	7	27.20	7	27.24	7	27.24	7	27.24
総合公園	1	11.30	2	22.10	5	73.80	5	81.00	5	81.00
運動公園	6	81.60	6	94.40	6	146.27	6	146.27	6	146.27
風致公園	—	—	—	—	1	16.60	1	16.60	1	16.60
墓園	1	11.40	1	11.40	2	12.75	2	12.75	2	12.75
緩衝緑地	—	—	3	24.70	3	29.82	3	29.97	3	29.97
都市緑地	—	—	9	11.60	22	18.16	45	32.77	45	32.77
緑道	2	0.27	3	1.50	3	1.42	9	1.58	9	1.58
広場公園	—	—	—	—	1	0.50	1	0.50	1	0.50
合計	178	144.25	384	249.68	580	403.01	710	429.89	724	430.37
1人あたり面積	3.90㎡		5.90㎡		9.10㎡		9.62㎡		9.57㎡	

種別	平成17年(2005)		平成18年(2006)		平成19年(2007)		平成20年(2008)		平成21年(2009)	
	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積
街区公園	645	57.16	663	58.01	741	70.43	759	72.10	780	75.45
近隣公園	15	25.31	15	25.31	21	37.45	21	38.30	23	41.81
地区公園	7	27.24	7	27.24	8	33.11	8	33.11	8	33.11
総合公園	5	81.00	5	81.00	6	104.7	6	104.70	6	104.70
運動公園	6	146.27	6	146.27	7	153.28	8	175.51	8	175.50
風致公園	1	16.60	1	16.60	1	16.6	1	16.60	1	16.60
墓園	2	12.75	2	12.75	2	12.75	2	12.75	2	12.75
緩衝緑地	3	29.97	3	29.97	4	29.99	4	29.99	4	29.99
都市緑地	45	32.77	45	32.77	47	56.64	49	36.76	56	39.17
緑道	9	1.59	9	1.59	9	1.59	9	1.59	9	1.59
広場公園	1	0.50	1	0.50	1	0.5	1	0.50	1	0.50
合計	739	431.16	757	432.01	847	517.04	868	521.91	898	531.17
1人あたり面積	9.55㎡		9.46㎡		10.26㎡		10.29㎡		10.53㎡	

※平成19～21年は、合併した旧上河内町、旧河内町を含めた数値。

(資料:公園緑地課)

種別	備考
街区公園	各児童公園等
近隣公園	明保野 錦中央 豊郷台中央 今泉中央など
地区公園	宇都宮城址 御幸 駅東 平出工業団地など
総合公園	八幡山 長岡 文化の森 県中央など
運動公園	駒生 柳田緑地 清原中央 鬼怒川緑地など
風致公園	清原北
墓園	北山霊園 東の杜公園
緩衝緑地	清原1～3号緑地など
都市緑地	戸祭グリーンヒル1～4号 清原台1～7号など
緑道	駅東1・2号 越戸北・南 石井内野など
広場公園	大谷景観公園

【参考】 都市規模別の1人あたり公園面積

都市規模	面積
100万人以上	5.9㎡
50万人以上	8.1㎡
30万人以上	9.3㎡
20万人以上	8.8㎡
10万人以上	9.7㎡
10万人未満	12.8㎡

平成20年3月31日現在

(3) 数値目標の達成状況

環境指標		担当課
①都市緑地の公有化面積を確保します。		公園緑地課
18年度(基準)	17.3ha	
19年度	18.9ha	
20年度	18.9ha	
	評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
22年度(目標)	22.0ha	

※数値は旧宇都宮市対象

環境指標		担当課
②一人あたりの都市公園面積を確保します。		公園緑地課
13年度(基準)	9.64㎡/人	
14年度	9.62㎡/人	
15年度	9.57㎡/人	
16年度	9.55㎡/人	
17年度	9.46㎡/人	
18年度	10.01㎡/人	
19年度	10.05㎡/人	
20年度	10.32㎡/人	
	評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している <input type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
22年度(目標)	13.00㎡/人	

※数値は旧宇都宮市対象

環境指標		担当課
③市域の緑地協定面積を確保します。		公園緑地課
13年度(基準)	115.99ha	
14年度	115.99ha	
15年度	115.99ha	
16年度	115.99ha	
17年度	115.99ha	
18年度	115.99ha	
19年度	145.60ha	
20年度	145.60ha	
	評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している <input type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
22年度(目標)	230ha	

※数値は旧宇都宮市対象

環境指標		担当課
④緑化ボランティア登録者数を増やします。		公園緑地課
13年度(基準)	25名	
14年度	52名	
15年度	63名	
16年度	78名	
17年度	101名	
18年度	120名	
19年度	143名	
20年度	157名	
	評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
22年度(目標)	180名	

※数値は旧宇都宮市対象

(4) 環境施策の取組状況

①平地林、里山等身近な自然の保全と活用

取組名	概要	担当課
都市緑地の保全 (戸祭山緑地、鶴田沼緑地)	市街化区域に残る貴重な里山である戸祭山緑地及び鶴田沼緑地を都市緑地として都市計画決定し、人と緑が共生する緑地として、用地取得及び整備を行います。	公園緑地課

取組状況

<p>【戸祭山緑地】 平成15年度 環境影響調査の実施、環境改善事業の実施(林床管理、池浚渫工事)、用地取得(3ha、累計13.4ha) 平成16年度 園路整備工事、用地取得(1ha、累計14.5ha) 平成17年度 園路整備工事、用地取得(1.6ha、累計16.1ha) 平成18年度 用地取得(1.3ha、累計17.4ha) 平成19年度 用地取得(1.6ha、累計19.0ha) 平成20年度 環境改善事業の実施(池浚渫工事)</p> <p>(戸祭山緑地の概要)</p> <p>都市計画決定 昭和63年度(都市緑地:都市公園事業) 都市計画面積 23.5ha 自然環境現状 宇都宮丘陵の骨格に位置する緑で、大きな改変を受けていない緑地 施設整備内容 散策路、木道、トイレ、ベンチ</p> <p>【鶴田沼緑地】 平成15年度 環境影響調査の実施、環境改善事業の実施(林床管理、池浚渫工事) 平成16年度 環境改善整備(流入部汚泥処理)、樹林回復活動 平成17年度 環境改善整備、樹林地保全管理 平成18年度 環境改善整備、樹林地保全管理 平成19年度 環境改善整備、樹林地保全管理 平成20年度 環境改善整備、樹林地保全管理</p> <p>(鶴田沼緑地の概要)</p> <p>都市計画決定 平成12年度(都市緑地:都市公園事業) 都市計画面積 30.9ha 自然環境現状 宇都宮環状線の西隣に位置し、市街化区域内に残る貴重な緑地 施設整備内容 散策路、湿原内木道、教養施設、駐車場、トイレ等</p>		
---	--	--

取組名	概要	担当課
里山、樹林地の保全 (長岡樹林地の保全)	市街化区域及びその周辺に残る良好な里山や樹林地を保全するため、緑地保全関係法令の適用、本市独自の緑地保全に関する制度の創設などの検討を行います。	公園緑地課

取組状況

<p>平成 4年度 グリーントラストによる保全契約(活動)開始 平成12年度 グリーントラストによる一部買取りに向けた募金活動開始 平成14年度 自然環境基礎調査の実施 平成15年度 「長岡樹林地基本計画」の策定 平成16年度 都市緑地法に基づく「特別緑地保全地区」の指定に向けた方針決定 平成17年度 保全に向けた土地権利者調査 平成18年度 保全手法の再検討 平成19年度 保全手法の他市事例調査 平成20年度 地権者との意見交換、現場確認の実施</p>		
---	--	--

取組名	概要	担当課
うつのみや文化の森の保全	本市の中北部に位置するうつのみや文化の森について、北部丘陵地域の緑地保全を基本とした利活用方策を検討します。	地域政策室

取組状況

<p>平成15~16年度 「緑地保全を基本とした利活用方策の検討」 現地調査の実施(6月) 平成17年度 「緑地保全を基本とした利活用方策の検討」 平成18年度 「緑地保全を基本とした利活用方策の検討」 平成19年度 「緑地保全を基本とした利活用方策の検討」 平成20年度 「緑地保全を基本とした利活用方策の検討」</p> <p>(うつのみや文化の森の概要)</p> <p>対象 宇都宮美術館とその周辺公園を含む北部丘陵の中核をなす田川沿いの丘陵地 現状 ・市街地近郊では、最大規模で唯一残されたまとまった良好な樹林地からなる里山 ・多様な動植物が生息 ・宇都宮美術館は、市民の憩いの場と芸術文化活動の拠点</p>		
--	--	--

②水と緑の快適な都市空間の創出

取組名	概要	担当課
身近な生活圏の公園整備	快適で良質な居住環境を創出するため、市民に身近な公園である街区公園を整備します。	公園緑地課
取組状況		
「公園緑地の計画的な整備」 土地区画整理地内の街区、近隣公園等の新設整備 「バリアフリー化整備工事」の実施 既存517公園、水飲み器等を整備		

取組名	概要	担当課
拠点公園の整備	周辺関連事業との連携を図った、地域の核となる防災機能などを有する多機能な公園の整備を行います。	公園緑地課
取組状況		
「公園緑地の計画的な整備」 土地区画整理地内の近隣公園等の新設整備 河内総合運動公園の整備		

取組名	概要	担当課
都心部道路景観整備事業	都心地区の持つ歴史や文化を生かしながら、ゆとりある歩行空間や楽しく回遊できる道路環境をつくるため、都心部道路景観整備事業を推進します。	道路建設課
取組状況		
平成15年度 市道3号線、市道3382号線 電線地中化工事 平成16年度 市道53号線 舗装・照明工事 平成17年度 市道6号線 電線地中化工事 平成18年度 市道5、84号線 電線地中化工事 平成19年度 該当事業なし		

③緑化及び緑化保全活動の推進

取組名	概要	担当課
都市緑化の推進	潤いや安らぎを感じる都市環境の維持向上を図るため、市民が主体となった緑化活動に向けた緑の普及啓発や、都市緑化を進めるための仕組みや制度を検討します。	公園緑地課
取組状況		
中心市街地緑化事業 緑地協定制度 緑化ボランティア養成講座の開催	メインストリートへハンギングバスケットを設置 4路線 85箇所 21地区 145.6ha 年5回の講座 受講者14名	年3回植え替え

取組名	概要	担当課
緑に関する活動拠点の強化	緑に関する情報などを積極的に提供し、人材育成や活動拠点としての緑の相談所の機能拡充を行います。	公園緑地課
取組状況		
「緑化講習会」の開催 「移動緑化講習会」の開催 「緑化相談受付」	「上手な家庭菜園の作り方」、「庭の果物が毎年なるテクニック」など延29回、1,405人参加 延22回、666人参加 受付件数 1,640件	

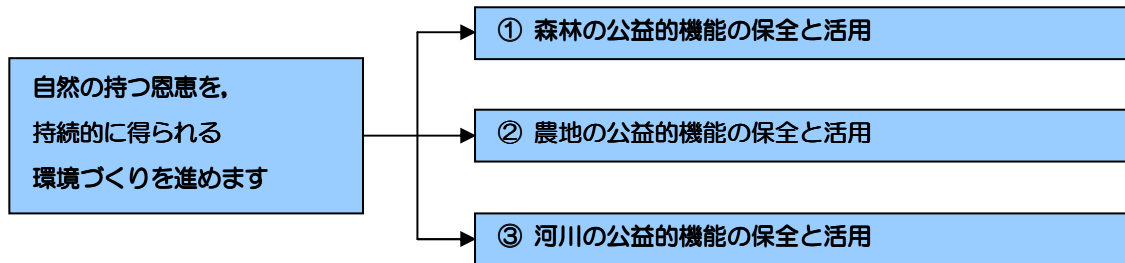
(5) 今後の取組

緑地保全や都市緑化に対する市民、事業者への意識啓発をより一層推進し、市民との協働による緑化活動、保全活動に取組んでいくとともに、市内の多くを占める民有地の緑を、地権者や周辺住民の協力によって守り育てていけるよう、既存制度の活用や新たな制度の検討など様々な仕組みづくりに取り組んでいきます。

また、公園整備については、一人当たり面積などの量だけでなく、市民の多様なニーズに対応するため、既存公園の魅力向上による活用など、質を高める取組についても検討していきます。

3 自然の公益的機能

(1) 環境目標と施策の方向



(2) 概況

① 森 林

本市の森林は、地域住民の生活に密着した里山と、林業生産活動を積極的に実施する人工林で構成されており、北西部の山地を中心としたスギ・ヒノキの人工林と東南部の天然広葉樹の平地林に大別できます。森林面積は5,901haで市域の約18.9%を占めています。

本市の林業は、外国産材の輸入拡大に伴う木材価格の低迷や国産材の需要低下、林業労働者の高齢化等により生産活動が停滞しており、他産業と比較して就業人口や生産額等は低位置にあります。

森林は、こうした生産性以外に、水源涵養、自然環境の保全、二酸化炭素の吸収源としての地球温暖化の防止、土砂流出・崩壊防止等の国土保全、生活環境の保全等の公益的機能を有しており、私たちの生活に大きな役割を果たしています。

このような中、森林の有する公益的機能を永続的に発揮するため、生産性の高い林業の確立を図る中で適切な森林保全に取り組んでいます。



■親子森林体験教室

② 農地

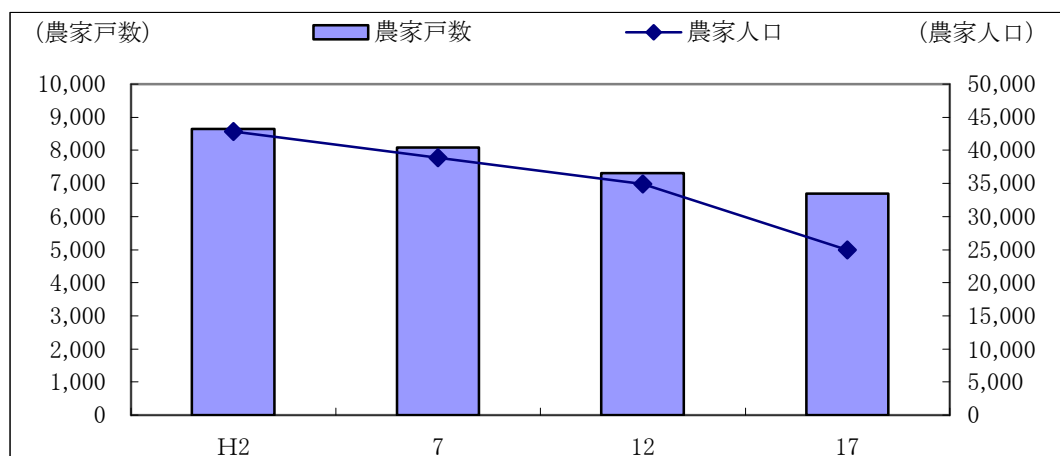
本市の農地は、平坦で肥沃な沖積土壌となっており、鬼怒川・田川・姿川等の水系にも恵まれています。また、日照時間等の気象条件や首都圏に位置する交通条件など有利な生産条件を備えており、首都圏への新鮮な農作物の供給基地としての地位を確立しています。

一方、農家戸数や農家人口、経営耕地面積が減少する中で、1戸あたりの耕作面積は拡大するなど、農業経営の規模の拡大による構造改善が徐々に進んできています。

農地は、こうした生産性以外に、地下水涵養や保水機能、多様な生物の生息環境等の公益的機能を有しています。また、農村地域における自然環境や景観、「宗円獅子舞」等の伝統文化は市民生活に潤いと安らぎをもたらすなど、大きな役割を果たしています。

このような中、「安全な食の提供」や「農業生産・水田農業・農村の振興」、「環境創造型農業」等に取り組むことを盛り込んだ「食料・農業・農村基本計画」に基づき、大規模農業者などへの農地集積など、生産性の高い農業の確立に取り組む中で、農地の持つ公益的機能の保全に取り組んでいます。

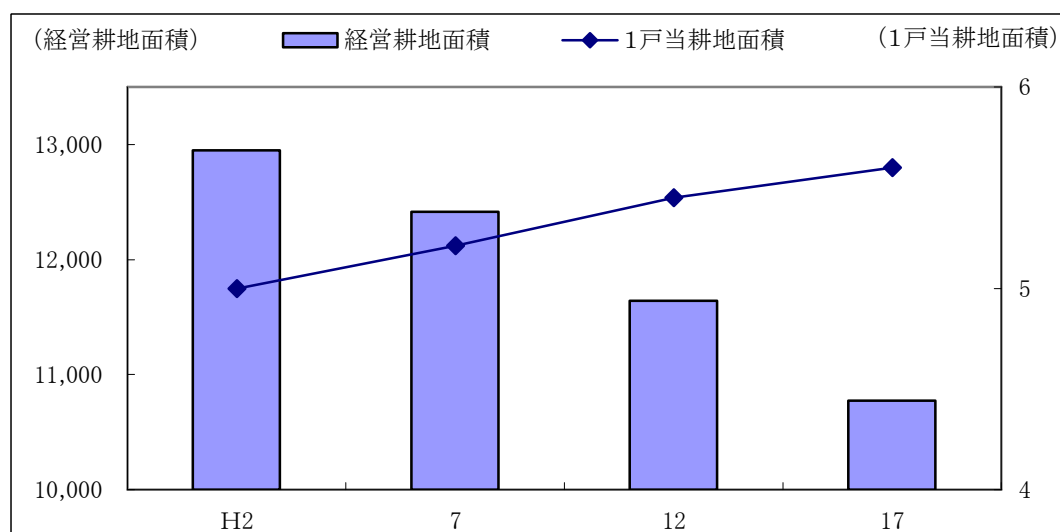
本市の農家戸数・農家人口の推移



資料(農林業センサス)

経営耕地面積・1戸当たり耕地面積

面積単位:ha



資料(農林業センサス)

※宇都宮の環境(環境状況報告書)資料編 資料「52」参照

③ 河川

本市を流れる河川は、鬼怒川、田川、姿川など 21 の一級河川をはじめ、新川、越戸川など 21 の準用河川や多くの普通河川があり、市域を概ね北から南に貫流しています。※宇都宮の環境（環境状況報告書）資料編 資料「53」参照

また、古くから農業利水の発展により用排水路が網状に錯綜し、複雑な水路網を形成しているほか、赤川ダムや新里湖などの人造湖が分布しています。

これまで、急速な都市化の進展に伴い、降雨に伴う河川の氾濫による浸水被害の発生や、生活排水・工場排水の流入により河川水質が悪化し、市民生活と河川との関わりも希薄になっていました。

このようなことから、治水・利水の観点や自然環境への配慮の視点を踏まえた河川整備を計画的に進めるとともに、地域における河川愛護活動など市民主体による良好な河川環境づくりに取り組んでいます。

本市の登録河川愛護グループ

平成21年3月31日現在

No.	河川	団体名
1	赤川	羽下地区赤川愛護会
2	江川	横川地区江川こどもとふれあう会
3		瑞穂台江川愛護会
4		平塚町江川愛護会
5		平松町江川愛護会
6	釜川	弁天沼・釜川を愛する会
7		戸祭地区の釜川をきれいにする会
8		釜川昭和ライン愛護会
9		釜川七橋河川愛護会
10		牧水亭と桜、釜川をきれいにする会中央
11		釜川厩橋さくらの会
12		天神田川釜川愛護会
13	鬼怒川	板戸鬼怒川一里塚愛護会
14		鬼怒川平石さくらプラン21
15		ラブ・ネイチャークリーンアップ鬼怒川
16		鬼怒川を愛する福島みちくさ会
17		鬼怒川愛護大島自治会
18		鬼怒川石井桜つつみを守る会
19		瑞穂野鬼怒川愛護会
20	駒生川	駒生川上流を美しくする会
21		駒生川を愛する会(鶴田東原南部)
22	新川	滝谷町新川をきれいにする会
23		新川桜並木通りをきれいにする会
24		五代若松原地域新川愛護会
25		西田新川愛護会

No.	河川	団体名
26		雀宮生協団地新川愛護会
27		五代2丁目新川愛護会
28	田川	田川まほろば会
29		ニュー富士見田川愛護会
30		関堀町・上関堀町中田川愛護会
31		田川の自然を守る会
32		山本田川愛護会
33		田川ちびっこ広場をきれいにする大曾3区自治会
34		東埴田六区田川美化の会
35		やなぜ田川愛護会
36		田川ほたるの里愛好会
37		田川フラワーロードクラブ
38		田川コスモスロード愛護会
39	鶴田川	「田川フラワーロード」雀宮
40		鶴田東沢地区鶴田川愛護会
41		鶴田川を守る有志の会
42	奈坪川	鶴田川をきれいにする会
43		東町地内奈坪川をきれいにする会
44		奈坪川ホテルの会
45	兵庫川	今泉地区奈坪川・石川をきれいにする会
46	越戸川	兵庫川清流会
47		越戸川遊歩道せせらぎ通り愛護会
48	御用川	越戸川せせらぎ通り泉2愛護会
49		御用川錦河川愛護会
50	西川	関堀町上西川河川愛護会

(3) 数値目標の達成状況

環境指標		担当課
①森林の適正な管理を進めます。(民有林間伐面積)		農村整備課
13年度(基準)	272ha(累計)	
14年度	427ha(累計)	
15年度	579ha(累計)	
16年度	703ha(累計)	
17年度	873ha(累計)	
18年度	1,056ha(累計)	
19年度	1,239ha(累計)	
20年度	1,336ha(累計)	
	評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
20年度(目標)	1,535ha(累計)	

※数値は旧宇都宮市対象

環境指標		担当課
②森林ボランティアの参加者数を増やします。		農村整備課
13年度(基準)	128名	
14年度	174名(累計:302名)	
15年度	173名(累計:475名)	
16年度	146名(累計:621名)	
17年度	159名(累計:780名)	
18年度	172名(累計:952名)	
19年度	141名(累計:1,093名)	
20年度	154名(累計:1,247名)	
	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している <input type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
20年度(目標)	1,089名	

環境指標		担当課
③エコファーマーの認定者数を増やします。		農業振興課
18年度(基準)	505人	
19年度	591人	
20年度	623人	
	評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
24年度(目標)	760人	

※エコファーマー:有機質資材の使用,化学肥料,農薬の使用の削減等の「持続性の高い農業生産方式」による栽培技術の導入計画について,県から認定を受けた農業者。

環境指標		担当課
④認定農業者等の農地集積面積を増やします。		農業振興課
18年度(基準)	4,800ha	
19年度	5,000ha	
	評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している ■目標年度に向け順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
20年度	5,200ha	
	評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している ■目標年度に向け順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
27年度(目標)	5,700ha	

※認定農業者等:農業経営改善計画(農業経営の改善を図るために5年後を見通した計画)を策定し市町村長の認定を受けた農業者,
及び水田農業ビジョンにおける「担い手リスト搭載者」
※農地集積面積:自作地,借入地,作業受託地

環境指標		担当課
⑤都市基盤河川御用川の整備を進めます。(河川改修率)		河川課
13年度(基準)	13.2%	
14年度	17.6%	
15年度	19.5%	
16年度	20.4%	
17年度	22.4%	
18年度	28.9%	
19年度	34.0%	
20年度	34.0%	
	評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している ■目標年度に向け順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
22年度(目標)	40.9%	

環境指標		担当課
⑥準用河川,普通河川の整備を進めます。(河川改修率)		河川課
13年度(基準)	準用河川 46.5% 普通河川 28.4%	
14年度	準用河川 47.9% 普通河川 29.7%	
15年度	準用河川 49.1% 普通河川 30.2%	
16年度	準用河川 49.6% 普通河川 30.4%	
17年度	準用河川 50.8% 普通河川 30.8%	
18年度	準用河川 51.8% 普通河川 30.9%	
19年度	準用河川 52.3% 普通河川 31.1%	
20年度	準用河川 51.8% 普通河川 33.3%	
	評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している ■目標年度に向け順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
22年度(目標)	準用河川 54.2% 普通河川 31.5%	

(4) 環境施策の取組状況

① 森林の公益的機能の保全と活用

取組名	概要	担当課
森林施業の推進 ・民有林整備事業 ・市有林, 部分林整備事業	森林の有する公益的機能(水源涵養, 自然災害の防止等)を有効に発揮させるため, 森林施業に伴う間伐や植林等の適正な維持管理を推進します。	農村整備課
取組状況		
「植林, 下草刈り, 枝打ち, 間伐等の実施」 平成15年度 民有林(164.79ha) 市有林・部分林(14.37ha) 平成16年度 民有林(123.59ha) 市有林・部分林(10.83ha) 平成17年度 民有林(170.04ha) 市有林・部分林(4.82ha) 平成18年度 民有林(183.45ha) 市有林・部分林(5.33ha) 平成19年度 民有林(183.45ha) 市有林・部分林(4.73ha) ※旧上河内施業分 民有林(86.45ha) 市有林・部分林(3.42ha) 平成20年度 民有林(97.39ha) 市有林・部分林(4.89ha) ※旧上河内施業分 民有林(61.92ha) 市有林・部分林(3.46ha)		

取組名	概要	担当課
森林ボランティアの育成事業	森林・林業への理解を深め, 森林の持つ公益的機能を維持するため, 森林ボランティアを育成することにより, 健全な森林づくりを促進します。	農村整備課
取組状況		
「森林ボランティア自主活動」の実施 森林公園(4回, 77人) 下刈, 間伐作業等 「森林ボランティアリーダー会議」の開催 4回, 77人		

取組名	概要	担当課
うつのみや文化の森の保全	本市の中北部に位置するうつのみや文化の森について, 北部丘陵地域の緑地保全を基本とした利活用方を検討します。	地域政策室
取組状況		
平成15～16年度 「緑地保全を基本とした利活用方策の検討」 現地調査の実施(6月) 平成17年度 「緑地保全を基本とした利活用方策の検討」 平成18年度 「緑地保全を基本とした利活用方策の検討」 平成19年度 「緑地保全を基本とした利活用方策の検討」 平成20年度 「緑地保全を基本とした利活用方策の検討」 (うつのみや文化の森の概要) 対象 宇都宮美術館とその周辺公園を含む北部丘陵の中核をなす田川沿いの丘陵地 現状 ・市街地近郊では, 最大規模で唯一残されたまとまった良好な樹林地からなる里山 ・多様な動植物が生息 ・宇都宮美術館は, 市民の憩いの場と芸術文化活動の拠点		

②農地の公益的機能の保全と活用

取組名	概要	担当課
食料・農業・農村基本計画の推進	「食」と「農」を取り巻く環境の変化に対応し、市民に良質で安全な食料を提供するとともに、本市の豊かな農資源と地理的優位性を活かして、活力ある農業都市として持続的な発展を図るため、「食料・農業・農村基本計画」に基づき、本市の農政を総合的・計画的に推進します。	農業振興課
取組状況		
平成14年度	市民意識調査の実施、「食と農のシンポジウム」の開催、外部懇談会の開催	
平成15年度	宇都宮農協や農業代表者等(市内11地区)との意見交換会 外部懇談会の開催(提言書の提出) 「食料・農業・農村基本計画」の策定	
平成16年度	リーディングプロジェクト(地域営農)の推進 ・麦の作付けの団地化や耕作放棄地の解消 平石、横川地区内 2ha以上の団地化(6ヶ所)、耕作放棄地(1.2ha)への麦の作付け	
平成17年度	リーディングプロジェクト(地域営農)の推進 ・モデル集落(6ヶ所)における集落営農の推進、法人化に向けた組織強化等 農業用機械(コンバイン・トラクター等)の導入 ・全地域を対象とした集落座談会の開催(89ヶ所、800人参加)	
平成18年度	リーディングプロジェクト「うつのみやアグリネットワーク」の形成 ・アグリネットワーク会員、アグリビジネス創出促進事業の募集 ・ホームページの構築	
平成19年度	「宇都宮市食料・農業・農村基本計画」改定の体制及びスケジュールの庁内合意	
平成20年度	「宇都宮市食料・農業・農村基本計画」改定	

取組名	概要	担当課
農業振興地域整備計画の推進	優良農地の確保・保全を図るため、「農業振興地域整備計画」に基づき、農用地区域の適正な管理を行います。	農業振興課
取組状況		
「農用地区域の適正管理」 農用地の除外(農家住宅、自己用住宅の建設等のため) 農用地の編入(土地改良事業によるもの) 平成15年度 除外(70件, 2.4ha) 平成16年度 除外(45件, 1.2ha), 編入(3件, 8.1ha) 平成17年度 除外(63件, 5.5ha), 編入(1件, 4.4ha) 平成18年度 除外(54件, 3.8ha), 編入(1件, 0.6ha) 平成19年度 除外(61件, 6.9ha), 編入(0件, 0ha) 平成20年度 除外(22件, 1.8ha), 編入(4件, 1.6ha) 地理情報システム(GIS)を活用した農用地管理台帳の更新・管理		

取組名	概要	担当課
農地流動化の推進	生産性の高い農業経営の確立や農地の有効利用を図るため、担い手である認定農業者等への農地の利用集積等の農地流動化を推進します。	農業振興課
取組状況		
平成20年度 「利用権設定等推進事業」 稲作農家の規模拡大による経営の安定化や、農地の効率的・合理的利用の推進等を図る。 ・農地流動化実績 ※農用地面積(12,300ha) 利用権設定面積(1,830.9ha) 流動化率(14.9%) ・水田農業構造改革交付金 対象者数(215人) 対象延べ面積(213ha) 交付額(約31,880千円) 「農作業受委託推進事業」 稲作農家の規模拡大の手段として、農作業受託の推進を図る。 農作業の受託あっせん 育苗(25.5ha) 耕起(4.2ha) 代かき(7.5ha) 田植え(11ha) 刈取り(22ha)		

取組名	概要	担当課
バイオマスタウンの構築の検討	循環型社会の形成、戦略的(新規)産業の育成、地球温暖化防止を図るため、バイオマスの発生から利用までが効率的なプロセスで結ばれたバイオマスタウンを構築します。	農業振興課
取組状況		
<p>【平成19年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内で関係課職員をメンバーとする「バイオマス利活用研究会」を平成19年6月15日に立ち上げる。 ・関係課職員による研究会を開催(6回) ・先進地視察(豊橋市、青森市)の実施。 ・上記の内容を基に、研究成果をまとめる。 <p>【平成20年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係12課による策定委員会の開催(委員会・幹事会・ワーキングの3段構成、計8回開催) ・関係団体の代表者から成る「策定検討委員会」の開催(3回) ・民間提案の募集による構想へのアイデアの集約(15件の提案中、10件の提案を構想の参考とした) ・パブリックコメントの実施(1名から2件の意見。構想の進め方の参考として受理) ・構想策定(構想期間:H21~H30) 		

取組名	概要	担当課
農地・水・環境保全向上対策	農地や農業用水、農村環境等の良好な保全とその質的向上を図るため、地域ぐるみの効果の高い共同活動と、農業者ぐるみの先進的な営農活動を支援します。	農村整備課 (共:農業振興課)
取組状況		
<p>「共同活動」 上籠谷町ほか23地区(1475.6ha)で実施</p>		

③河川の公益的機能の保全と活用

取組名	概要	担当課
都市基盤河川御用川整備事業の推進	安全で快適な河川環境を形成するため、都市基盤河川の浸水被害を解消し、治水・利水機能を確保するとともに、自然生態系に配慮した河川整備を推進します。	河川課
取組状況		
<p>「自然生態系に配慮した河川整備の推進(緩斜面護岸、親水性護岸、環境ブロック等)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江川(平松本町地内~峰1丁目地内) 改修計画延長(2,050m) 整備率 平成15年度(93.1%) 平成16年度(100%)~17年度 ・御用川(今泉3丁目地内~下川俣町地内) 改修計画延長(4,100m) 整備率 平成15年度(19.5%) 平成16年度(20.4%) 平成17年度(22.4%) 平成18年度(28.9%) 平成19年度(34.0%) 平成20年度(34.0%) 		

取組名	概要	担当課
準用河川整備事業の推進	溢水被害を解消し安全な市民生活を確保するため、市民に密接な関わりを持つ準用河川について、治水安全度の向上及び環境に配慮した整備を行います。	河川課
取組状況		
<p>「環境に配慮した河川整備の推進(多自然型護岸、環境ブロック等)」</p> <p>準用河川(21河川、全体延長67,269m)</p> <p>整備率 平成15年度(49.1%) 平成16年度(49.6%) 平成17年度(50.8%) 平成18年度(51.8%) 平成19年度(52.3%) 平成20年度(51.8%)</p>		

取組名	概要	担当課
普通河川整備事業の推進	溢水被害を解消し安全な市民生活を確保するため、市民に密接な関わりを持つ普通河川について整備を行います。	河川課
取組状況		
<p>「環境に配慮した河川整備の推進(多自然型護岸、環境ブロック等)」</p> <p>普通河川(60河川、全体延長166,030m)</p> <p>整備率 平成15年度(30.2%) 平成16年度(30.4%) 平成17年度(30.8%) 平成18年度(30.9%) 平成19年度(31.1%) 平成20年度(33.3%)</p>		

取組名	概要	担当課
河川愛護活動事業の促進	市内を流れる河川をゴミ散乱の無い美しい川として末永く保全し、河川に関する市民意識の高揚を図るため、河川愛護会を中心とした河川の清掃や美化活動を支援します。	河川課
取組状況		
<p>「河川愛護活動の推進」</p> <p>平成15年度 河川愛護会(連合自治会単位37支部)の廃止 新たな「河川愛護グループ」の設立 河川美化清掃活動(参加:7,204人,ごみ収集量:122t)</p> <p>平成16年度 河川愛護グループ数(42団体) 河川美化清掃活動(参加:9,055人,ごみ収集量:138t)</p> <p>平成17年度 愛護グループ数(42団体) 河川美化清掃活動(参加:8,142人,ごみ収集量:94.8t)</p> <p>平成18年度 愛護グループ数(42団体) 河川美化清掃活動(参加:8,213人,ごみ収集量:66.90t)</p> <p>平成19年度 愛護グループ数(47団体) 河川美化清掃活動(参加:8,149人,ごみ収集量:63.74t)</p> <p>平成20年度 愛護グループ数(49団体) 河川美化清掃活動(参加:8,364人,ごみ収集量:69t)</p> <p>「河川愛護標語の募集」 ※応募総数</p> <p>平成15年度 4,832点(小学生4,701点,中学生131点) 平成16年度 4,633点(小学生4,431点,中学生202点) 平成17年度 4,680点(小学生3,026点,中学生1,654点) 平成18年度 5,503点(小学生3,748点,中学生1,755点) 平成19年度 5,009点(小学生4,195点,中学生814点) 平成20年度 3,362点(小学生2,964点,中学生398点)</p>		

取組名	概要	担当課
河川環境基金事業の推進	昭和61年度に河川環境基金制度を創設し、市・事業者・市民等からの寄付金を積み立て、その運用益を活用した事業を平成3年度から実施し、市民参加型事業により、環境美化と市民の河川への理解と関心を高めます。	河川課
取組状況		
<p>「みんなのふれあいアート・河川絵画板」の設置</p> <p>・場所 江川(下栗町地内) ・テーマ 「未来に残そう宮の川」 ・参加16組</p>		

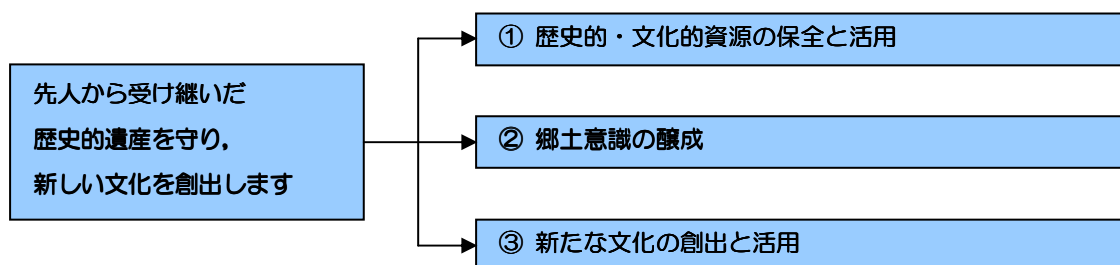
(5) 今後の取組

森林については、森林施業に伴う間伐や植林等の適正な維持管理を行い、農業については、生産性の高い農業を確立する中で、農地の適切な保全と活用を進めていきます。

また、河川については、治水・利水の観点や自然環境に配慮し、引き続き、計画的に工事を進めるとともに、市民参加による河川の維持管理など、良好な河川環境の創出に取り組んでいきます。

4 歴史的・文化的環境

(1) 環境目標と施策の方向



(2) 概況

長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた文化財は、本市の歴史や文化を理解するために欠くことのできないものであり、将来の文化向上の基礎となる貴重な財産です。また、文化財は快適な生活環境の形成や市民の精神的な拠り所としても大きな役割を果たしています。

本市においては、地域のシンボルとして多くの人に親しまれ、守り継がれてきた貴重な文化財が数多く残されており、国指定・登録 34 件、県指定 123 件、市指定・認定 326 件（平成 21 年 3 月現在）の文化財を有しています。

このような中、「上神主・茂原官衙遺跡」の整備や大谷地区の景観整備などに取り組むとともに、ホームページ「宇都宮の歴史と文化財」による情報発信や小・中学校における文化財愛護活動に取り組んでいます。



■御止山（大谷寺と背後の奇岩）



■越路岩（水田に姿を映す越路岩）



■「飛山城史跡公園」

国内初の「烽（のろし）」関連建物の復元



■宇都宮城址公園

本市の文化財指定状況

平成21年3月31日現在

区 分	種 類	指 定 別			総数	代 表 例
		国	県	市		
有形文化財	建造物	2	1	10	13	旧篠原家住宅, 岡本家住宅
	美術工芸品 (絵画)	0	36	119	155	紙本淡彩蒲生君平像 紙本墨画孔雀図
	〃 (彫刻)	2	7	30	39	大谷磨崖仏(大谷寺) 銅造阿弥陀如来坐像(一向寺)
	〃 (工芸品)	4	53	27	84	鉄塔婆(清巖寺) 太刀 銘作陽幕下土細川主馬佐源正守(刻印)
	〃 (書跡)	0	3	5	8	紙本墨書新式和歌集
	〃 (典籍)	0	0	1	1	大般若波羅蜜多經
	〃 (古文書)	0	0	2	2	宇都宮領岡本村太閤検地帳
	考古資料	3	6	19	28	鉄製狛犬
	歴史資料	0	0	27	27	宇都宮大明神祭礼図
無形文化財	芸 能	0	0	10	10	宗円獅子舞
民俗文化財	有 形	1	2	18	21	徳次郎智賀都神社祭礼付祭屋台
	無 形	0	1	2	3	関白獅子舞
記 念 物	史 跡	4	7	21	32	飛山城跡 上神主・茂原官衙遺跡 長岡百穴古墳
	名勝指定	1	—	—	1	大谷の奇岩群, 御止山, 越路岩
	天然記念物	0	7	31	38	城山のシダレザクラ(孝子桜), 下ヶ橋の三又カヤ
国登録 有形文化財	建造物	17	—	—	17	カトリック松が峰教会 旧大谷公会堂 宇都宮中央女子高校赤レンガ倉庫
市認定建造物	建造物	—	—	4	4	光明山摂取院宝蔵寺不動堂 渡邊家住宅主屋, 西石蔵, 門
総 数		34	123	326	483	

資料(教育委員会文化課)

本市の指定文化財保存活動（愛護）団体

平成21年3月31日現在

No.	団体名	種類
1	宗円獅子舞保存会	無形文化財
2	関堀獅子舞保存会	〃
3	上横倉の獅子舞保存会	〃
4	飯山の獅子舞保存会	〃
5	二荒山神社の神楽保存会	〃
6	瓦谷の神楽保存会	〃
7	八坂神社の神楽保存会	〃
8	堀米の田楽舞保存会	〃
9	篠井の金堀唄保存会	〃
10	宇都宮蔦木遣り保存会	〃
11	徳次郎智賀都神社夏祭 付祭屋台保存会	民俗文化財
12	石那田八坂神社天王祭保存会	〃
13	天下一関白神獅子舞保存会	〃
14	西組獅子舞保存会	〃
15	逆面獅子舞愛好会	〃
16	白沢甲部彫刻屋台保存会	〃
17	白沢南自治会屋台保存委員会	〃
18	東下ヶ橋天棚保存会	〃
19	西下ヶ橋天棚保存会	〃
20	東組彫刻屋台保存会	〃
21	西組彫刻屋台保存会	〃
22	天王原彫刻屋台保存会	〃
23	上組天棚保存会	〃
24	古田天棚保存会	〃

No.	団体名	種類
25	和久天棚保存会	民俗文化財
26	旭町の大きいちょう保存会	天然記念物
27	中鶴田の大フジ愛護会	〃
28	古賀志の孝子桜愛護会	〃
29	新町のケヤキ愛護会	〃
30	赤岩山のヒカゲツツジ保存会	〃
31	姿川第一小のフジ愛護会	〃
32	高才神社大杉保存会	〃
33	上籠谷のフジを守る会	〃
34	徳次郎智賀都神社ケヤキ愛護会	〃
35	竹下町文化財愛護会	史跡
36	おしどり塚愛護会	〃
37	長岡百穴愛護会	〃
38	蒲生君平勅旌碑愛護会	〃
39	谷口山古墳愛護会	〃
40	稲荷古墳群愛護会	〃
41	塚山古墳群愛護会	〃
42	下栗大塚古墳愛護会	〃
43	樋爪氏の墓愛護会	〃
44	瓦塚古墳群愛護会	〃
45	北山古墳群愛護会	〃
46	宇都宮城主戸田家の墓所愛護会	〃
47	高才神社古墳愛護会	〃

資料(教育委員会文化課)

(3) 数値目標の達成状況

環境指標		担当課
①文化財愛護団体を増やします。		文化課
13年度(基準)	29団体(840名)	
14年度	31団体(1,037名)	
15年度	31団体(1,037名)	
16年度	31団体(1,037名)	
17年度	31団体(1,200名)	
18年度	31団体(1,200名)	
19年度	34団体(1,280名)	
20年度	47団体(2,000名)	
	評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している <input type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
22年度(目標)	39団体(1,500名)	

環境指標		担当課
②文化財の保護活動実施校を増やします。		文化課
13年度(基準)	6校	
14年度	7校	
15年度	9校	
16年度	14校	
17年度	14校	
18年度	16校	
19年度	16校	
20年度	17校	
	評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している <input checked="" type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる <input type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
22年度(目標)	20校	

※数値は旧宇都宮市対象

環境指標		担当課
③文化財展示施設の一般公開等の来訪者・参加者を増やします。		文化課
18年度(基準)	73,404人	
19年度	165,000人	
20年度	144,000人	
	評価	<input type="checkbox"/> 目標年度の数値を達成している <input type="checkbox"/> 目標年度に向け順調に進んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 今後一層の努力を要する
22年度(目標)	200,000人	

※展示施設：うつつのみや遺跡の広場、旧篠原家住宅、飛山城史跡公園、宇都宮城址公園ガイド施設、上河内民俗資料館
 一般公開等：一般公開、特別公開、発掘現場等説明会、文化財体験学習、文化財めぐり

(4) 環境施策の取組状況

取組名	概要	担当課
歴史的建造物の保存	歴史的建造物を保存し後世に伝えていくため、「指定」「登録」「認定」の各制度に基づく歴史的建造物の保護と活用を推進します。	文化課
取組状況		
市独自の「認定建造物制度」を平成14年度に新設し、指定、登録制度とあわせて歴史的建造物の保存を推進 【平成14年度当初の指定、登録の状況】 指定:国1件(2棟),市2件(3棟) 登録:10件(10棟) 【以降の状況】 平成14年度 登録:2件 認定:1件 平成15年度 登録:1件 認定:3件 平成16年度 該当なし 平成17年度 登録:1件 平成18年度 登録:3件 指定:1件 平成19年度 国指定1件追加(合併) 平成20年度 該当なし		

取組名	概要	担当課
上神主・茂原官衙遺跡の保存整備 (かみこうぬし・もぼらかんがいせき)	上神主・茂原官衙遺跡を後世に伝えていくため、市民の憩いの場や歴史体験の場として保存・整備を行い、活用を図ります。	文化課
取組状況		
平成9年度～ 発掘調査の実施(上三川町との合同) 平成15年度 国指定史跡となる,指定地内地籍測量,第11回調査指導委員会(上三川町と合同) 平成16年度 保存整備基本構想の検討,土地公有化(2,678㎡) 平成17年度 保存整備基本構想の策定,土地公有化(3,060㎡) 平成18年度 土地公有化(6,178㎡) 平成19年度 土地公有化(6,882㎡) 平成20年度 土地公有化(7,301㎡) (上神主・茂原官衙遺跡の概要) 所在 宇都宮市茂原町及び上三川町上神主地内 時代 奈良・平安時代(7世紀後半～9世紀前半) 性格 行政施設(下野国河内郡の役所=郡衙) 面積 約3.9ha(指定面積) 発掘 政庁跡,正倉跡,東山道跡,人名文字瓦等		

取組名	概要	担当課
大谷の名勝・文化的景観保存整備事業	大谷地区独特の景観を文化財として恒久的に保存するため、国の名勝と重要文化的景観を活用し、住民参加型の保存・管理を目指します。	文化課
取組状況		
平成18年度 名勝指定「大谷の奇岩群 御止山 越路岩」,大谷学講座・景観シンポジウムの開催 平成19年度 大谷の文化的景観 保存計画策定のための委員会開催,大谷学講座・景観シンポジウムの開催 平成20年度 大谷の文化的景観 保存計画策定のための委員会開催,大谷学講座の開催,計画変更に係る文化庁協議		

取組名	概要	担当課
大谷観光の推進	本市の北西部に位置する大谷観光地域の活性化を図るため、大谷の特異な景観を活かした観光振興を推進するとともに、国の名勝指定を受けたため、それに相応しい景観整備や環境整備を推進します。	観光交流課 (共:文化課)
取組状況		
平成15年度	「大谷観光推進基本計画」の策定 「大谷地区の景観整備」 奇岩群の岩出し事業 「大谷活性化事業(フェスタin大谷の開催)」 写真展, シンポジウム, ジャズライブ, 和太鼓演奏等 10月18~19日(1万人)	
平成16年度	「大谷地区の景観整備」 奇岩群の岩出し事業, 美観地区の下草刈りの実施 「大谷七名山」の選定 古賀志山, 御岳, 男抱山, 御止山, 多気山, 戸室山, 鞍掛山 リーフレットの作成, 配布 「大谷活性化事業(フェスタin大谷の開催)」 ダンス, ゴスペルコンサート, 朗読会, 写真, 版画展等 10月30~31日(1.4万人)	
平成17年度	「大谷地区の景観整備」 奇岩群の岩出し事業, 多気山の草刈・フラワーボット維持管理事業 「大谷七名山」パンフレットの作成 「大谷石効果の産業活用調査」の実施 宇都宮大学との連携 「大谷活性化事業(フェスタin大谷の開催)」 「大谷の名勝指定」 国申請(文化課) 「大谷の文化的景観保存・活用事業」 学識者による重要文化的景観候補地の調査研究(文化課)	
平成18年度	「大谷地区の景観整備」 奇岩群の岩出し事業, 多気山の草刈・フラワーボット維持管理事業 「大谷石効果の産業活用調査」の実施 宇都宮大学との連携 「大谷活性化事業(フェスタin大谷の開催)」 10月28日~29日(2.5万人) 「大谷の名勝指定」(文化課) 「大谷の文化的景観保存・活用事業」 大谷学講座と景観シンポジウムの開催(文化課)	
平成19年度	「大谷地区の景観整備」 奇岩群の岩出し事業, 多気山の草刈・フラワーボット維持管理事業 「大谷活性化事業(フェスタin大谷の開催)」 10月13日~14日(2.5万人) 「大谷の名勝・文化的景観保存整備事業」 ・大谷学講座と景観シンポジウムの開催(文化課) ・重要文化的景観保存計画の検討(文化課)	
平成20年度	「大谷地区の景観整備」 奇岩群の岩出し事業, 多気山の草刈・フラワーボット維持管理事業 「大谷活性化事業(フェスタin大谷の開催)」 9月13日~14日(2.5万人) 「大谷の名勝・文化的景観保存整備事業」 ・大谷学講座と景観シンポジウムの開催(文化課) ・重要文化的景観保存計画の検討(文化課)	

取組名	概要	担当課
史跡「飛山城跡」の活用	中世を代表する飛山城跡を後世に伝えていくため、市民の憩いの場や歴史体験の場として「飛山城史跡公園」及び「とびやま歴史体験館」の活用を図ります。	文化課
取組状況		
平成17年度	飛山城史跡公園, とびやま歴史体験館開園	
平成18年度	清原とびやま祭りの開催	
平成19年度	地元NPO組織による指定管理者勉強会の実施	
平成20年度	地元NPO組織による指定管理者制度の導入	

取組名	概要	担当課
歴史・文化財活用のネットワークの構築	歴史・文化財に関する情報の管理や提供, 利活用を図るため, 歴史・文化財に関するネットワーク(施設・人・物・情報)の構築を推進します。	文化課
取組状況		
平成14年度	「歴史・文化財活用ネットワーク基本方針」の策定	
平成15年度	歴史・文化財関連資料のデータベース化の実施	
平成16年度	ホームページ「宇都宮の歴史と文化財」の開設 ・宇都宮の歴史紹介(年表, 歴史クイズ) ・指定文化財の情報, 展示案内施設, 民話の紹介, イベント情報等 ・情報端末の設置(文化財研究展示室, とびやま歴史体験館, 旧篠原家住宅, うつのみや遺跡の広場)	
平成17年度	ホームページで「宇都宮の歴史と文化財」の通年運用	
平成18年度	ホームページで「宇都宮の歴史と文化財」の通年運用	
平成19年度	ホームページの運用と, 上河内民俗資料館のネットワークへの位置づけ	
平成20年度	ホームページで「宇都宮の歴史と文化財」の通年運用	

②郷土意識の醸成

取組名	概要	担当課
文化財愛護団体の育成等	指定文化財の保護や市民参加による文化的特色を活かしたまちづくりを進めるため、市民への文化財啓発活動を行う文化財保存団体への支援や文化財ボランティアの育成を推進します。	文化課
取組状況		
「文化財愛護団体への支援」 文化財愛護活動に係る補助金の交付(25団体) 「文化財解説ボランティア養成講座」の開催 平成15年度(25人) 平成16年度(26人) 平成17年度(22人) 平成18年度(18人) 平成19年度(14人) 平成20年度(14人) ・講座終了後、文化財めぐり等において文化財解説を行う。		

取組名	概要	担当課
学校単位での文化財保護活動の推進	文化財に対する市民意識の高揚を図り、市民参加による文化的特色を活かしたまちづくりを進めるため、1学校1文化財の愛護活動を推進します。	文化課
取組状況		
平成15年度 国本西小(宗田獅子舞の伝習)、若松原中(塚山古墳群の奉仕活動)など9校で実施 平成16年度 清原中央小(飛山城史跡公園の整備、活用)、豊郷中(瓦塚古墳群の清掃、整備)など14校で実施 平成17年度 清原中(飛山城史跡公園の活用) 平成18年度 国本西小(宗田獅子舞の伝習)、豊郷中、豊郷中央小(瓦塚古墳群の清掃)など16校で実施 平成19年度 清原中(清原とびやま祭りへの協力)、若松原中(塚山古墳群の奉仕活動)など16校で実施 平成20年度 豊郷中(瓦塚古墳清掃事業への協力)、若松原中(塚山古墳群の奉仕活動)など16校で実施		

取組名	概要	担当課
文化財活用・啓発事業	市内の各文化財施設での展示、イベント、また発掘現場や文化財めぐり等、文化財保護に対する市民理解を深める活用・啓発事業を推進します。	文化課
取組状況		
「桜めぐり」、「親子文化財めぐり」など6回、参加290人		

③新たな文化の創出と活用

取組名	概要	担当課
宇都宮伝統(ふるさと)文化継承事業	ふるさと宇都宮において守り伝えられてきた生活文化を中心とした伝統文化を振興するため、地域継承活動における環境づくりや人材育成等を支援します。	文化課
取組状況		
平成14～15年度 課題別一斉調査「宇都宮の年中行事」 平成16年度 課題別一斉調査「宇都宮の年中行事」追加調査 平成17年度 「宇都宮の年中行事」報告書の作成 平成18年度 「ふるさと宇都宮伝統文化継承検討懇談会」の設置・提言、伝統文化フェスティバルの開催 平成19年度 伝統文化フェスティバルの開催 宇都宮伝統文化連絡協議会の設立 平成20年度 宇都宮伝統文化連絡協議会による主催事業の開始		

(5) 今後の取組

引き続き、「認定建造物制度の推進」など、歴史・文化資源の適切な保全を進めるとともに、ホームページ等を通じた歴史・文化情報の発信や、学校・地域における文化財保護活動などに取り組んでいきます。